

新潟県

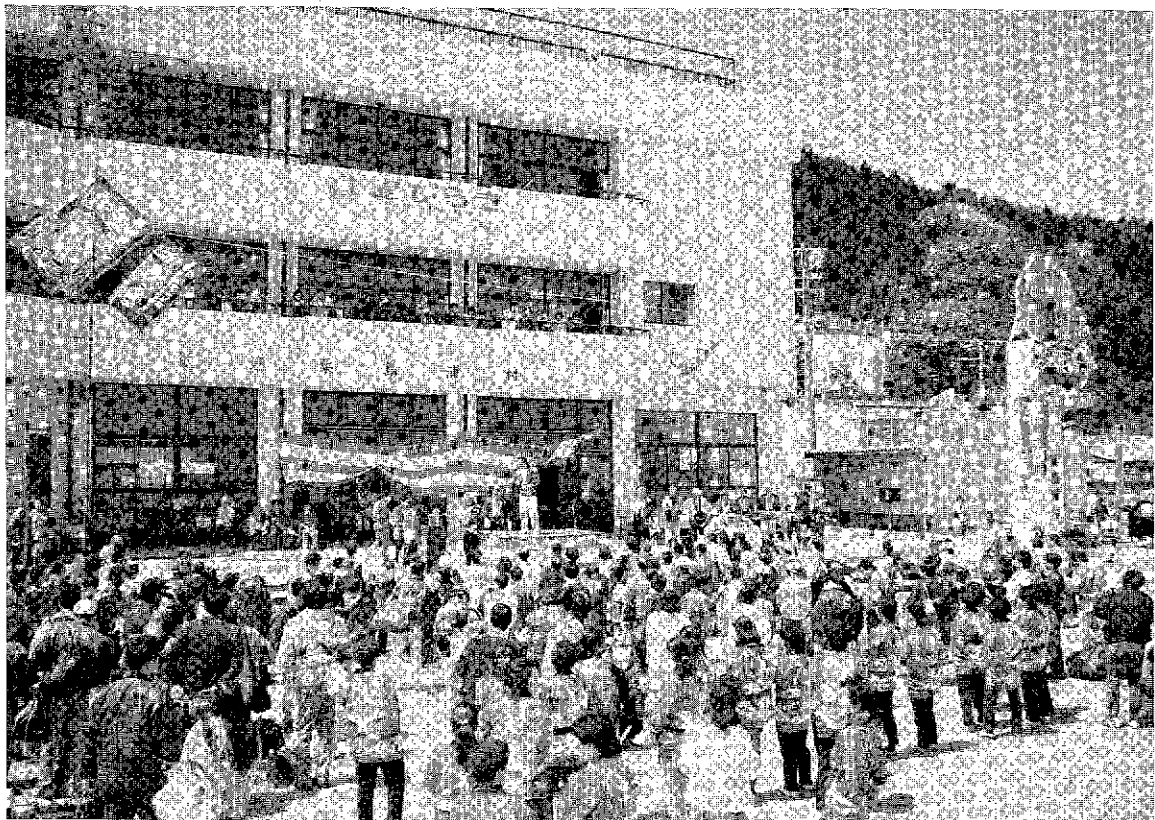
平成5年

公民館月報

8月

第486号

特集 公民館と学習相談



'93 島びらき

春が食べごろ！
遊びごろ！

毎年五月一日・二日・三日
と粟島では「島びらき」が行
われる。

六回目を迎えた今年は、
粟島の野鳥の写真展、ワッ
パ煮、つり大会、粟島ウルト
ラフイズ等多彩な催しがあ
り、三日間で二、〇六五人の
観光客でにぎわった。

(写真・資料提供 粟島浦村
公民館)

第44回新潟県公民館大会開催

公民館の今日的課題をとらえ

活動の質的深化を追求

熱気で会場を圧倒

去る七月十五日(木)、第四十四回新潟県公民館大会が、中頸城郡頸城村ユートピアくびき希望館で開催された。参加者六百余名という多数の参加者に

より「公民館の今日的課題を考える」という主題のもと、シンポジウムと記念講演からなる研究的性格の濃い、熱気に満ちた大会が繰り広げられた。



開会式であいさつする細川会長



表彰者勢ぞろい

会場は「希望館」の名のとおり福祉と文化と教育の夢を盛り込んだ素晴らしい施設で、六百人を超える多数の参加者による盛大な大会であった。

午前九時四十分、定刻に「公民館の歌」の斉唱により開幕。

歌代公夫上越地区公連会長の開会宣言、続いて細川正博県公連会長並びに本間栄三郎県教育長(代読)の開会あいさつ。

表彰式に移り、優良公民館二館、永年勤続者十四名が表彰され、細川会長から表彰状ならびに記念品を手渡された。受賞者を代表して板倉町の重野正治氏が感謝の言葉を述べられた。このあと、地元頸城村長大島

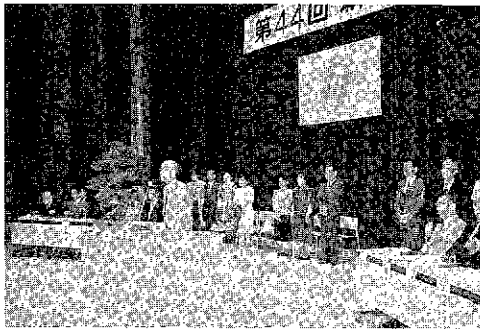
喜一氏の歓迎の挨拶、県公民館振興市町村長連盟会長伊豆野壹郎氏の米賓祝辞で開会式の式典を終了した。

十時二十分からシンポジウムに移る。初めに中頸城郡公連会長渡辺之夫氏により基調提案がなされ、続いてシンポジウムが展開された。

午後は記念講演で、講師に国立妙高少年自然の家所長五十川隆夫氏を迎え、「無境界化時代と子どもたち」と題する、ポスター時代諸現象と、大人社会の身勝手さ、その中に生きる子どもたちの心身の不健全な成長発達に対する警鐘と、公民館関係者としての在り方について鋭く指摘し、参加者に多くの問題を提起されるとともに、深い感銘を与えられた。

午後三時、閉会式に移り、会場地公民館長外ノ池一氏から次期開催地十日町市公民館長宮沢忠男氏に公民館旗が継承された。最後に上越公連副会長瀬戸満男氏(新井市中央公民館長)により、「来年十日町で合いましょう」の言葉とともに全日程を無事終了した。

梅雨シーズンの真っ只中、この日だけは青空さえ見える好天に恵まれ極めて快適な大会であった。



受賞者を代表して謝辞を述べる重野正治氏

県公民館振興市町村長連盟

総会終わる

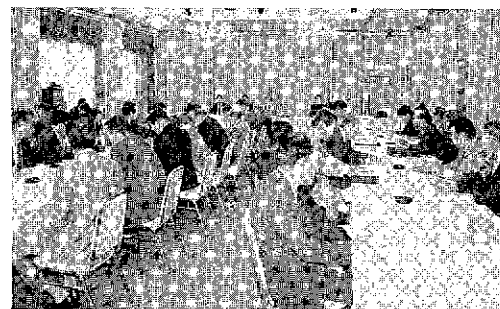
役員改選は全役員留任

去る七月十三日(火)、新潟市白山会館において新潟県公民館振興市町村長連盟の平成五年度総会が開催された。

第三の議題は、社会教育団体懇話会(十四団体で構成され会長は小林力三県社会教育協会長、当県公連も構成員)から誘いのあった「仮称県立総合教育予算案の承認について、執行部原案のとおり承認。」

第二に役員任期満了にともなう改選では、現役員全員留任と決定。

第三の議題は、社会教育団体懇話会(十四団体で構成され会長は小林力三県社会教育協会長、当県公連も構成員)から誘いのあった「仮称県立総合教育予算案の承認について、執行部原案のとおり承認。」



視点

新潟市の公民館事業もに公民館へ相談に訪れる若い母親の姿も多に「乳幼児家庭教育学級の充実と推進」があります。各地区公民館では、地域性を加味した乳幼児とその母親を対象とした特色ある講座が組まれ、好評を博しており

ます。また、それと公民館へ相談に訪れる若い母親の姿も多に「乳幼児家庭教育学級の充実と推進」があります。各地区公民館では、地域性を加味した乳幼児とその母親を対象とした特色ある講座が組まれ、好評を博しており

学習相談の裏にあるもの

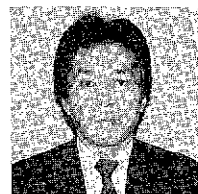
高橋 文子

ている子育てが主流です。家庭の核家族化・少子化・孤立化とともに様々な問題を抱えているからでしょう。とりわけ、転居して来たばかりの方が「親

子で参加できるサークルを紹介して」とか「乳幼児を連れて参加できる講座は？」などといった相談が多くなっています。そのため、市の各機関の窓口で子育ての不安や悩み

そういふ方には、「グループ討論」や「仲間づくり」などで「みんなで悩みを解決できるように助け合っていますよ」といった説明をする身を乗り出して聞き入ってくれます。

ひるば 意味性の高いものの追求や進が問われているのではないだろうか。生涯学習の推進において、ま



生涯学習の推進に思う

斎藤 喜平

生涯学習の先進地として特有名な掛川市を私はまだ訪問する機会を持たないが、先般そこを視察した方々の報告会があり

「を」と「が」とは、例えば「住民を」「住民と」「住民が」どうするのかを欠落させない考え方である「五サイクル」とは、調査、分析、企画、目的、実行の相関性を常にサイクルさせ「なぜ」という目的意識を明確にすることである。このことは容易に見えてそうではないが所期の目的を果たすには不可欠である。その上更に必要なことは、そこに住む人々のアイデンティティをどう組み込むかであろう。金太郎爺のような生涯学習とは無縁の、素晴らしい個性を持った、そこに住む人が生き生きと参画できる意味有るものにしてほしいと切望する。

(中条町中央公民館 運営審議会委員)

の課題を追って る学習相談

ンターにおける学習相談～

公民館と学習相談

余暇時間の増大が生涯学習推進の要である。しかし、これまで「仕事人間」として生きてきた中年以上の者にとって、余暇の活用は容易なものではない。どのように活用したらよいのか余暇を持って余している人も少なくない。そこに、「学習相談」の必要性が生まれる。

公民館における「暮らしの中の課題」として「学習相談」の在り方を、問題にするゆえんである。

そこで、県立生涯学習推進センターから「公民館における学習相談」の捉え方と、相談の実際について解説してもらった。

公民館における相談事業の歩み

生涯学習社会の到来に伴い、「いつでも、どこでも、誰でも」が自由に学べる環境の整備が求められている。この中で地域住民の身近に存在し、地域における社会教育・生涯学習を進める施設として、公民館の果たす役割は大きい。

ここでは、市町村公民館に期待される相談事業とは何か。公民館における情報提供のあり方、公民館と県の生涯学習推進センターの機能連携について述べてみたい。

昭和二十一年文部次官通牒で出された「公民館の設置運営について」の中に「よろず相談所」との記述が見られる。この頃は公民館の創生期ともいわれているが、公民館に対して総合的なサービスセンターの機能が求められていたことが理解できる。

また、公民館の整備期ともいえる昭和三十八年に文部省は、「進展する社会と公民館の運営」を発表した。その中で、「公民館事業は人々の日常生活から生ずる問題の解決を助ける場である。」と述べ、公民館の役割の中に学習相談の必要性を示している。

昭和五十六年頃から現在に至るまで、生涯教育・生涯学習が盛んに叫ばれてきているが、公民館は生涯教育・生涯学習を推進する施設として多くの機能・役割が期待され、その期待に答えてきている。最近では小山忠弘氏が平成四年月刊公民館四月号で「各種答申から公民館の役割」を述べる中で、「学習相談」について次のように位置付け、その重要性を説いている。

「今日の公民館の機能として、地域住民の潜在的な学習要求を顕在化し、行動化するためには①「届ける」(適宜・適切な情報提供)②「聴く」(学習相談)③「興いす」(意識啓発)④「学ぶ」(他律的・初級の学習活動)⑤「集まる」(集団・集会的学習活動)」

小山氏は、公民館が地域の住民と密接な連携を保ち、集める学習から出向く学習、きめの細かい学習へと質的変換をするために、先ず地域住民の声に十分に耳を傾け「聴く」ことを強調している。

市町村公民館に期待される学習相談

ここでは、公民館に期待される学習相談とは何か。新潟県ではどのようにこれをとらえているのか。

県は、平成五年三月新潟県生涯学習審議会の答申を受けて「新潟県生涯学習推進プラン」を発表した。その中で「相談体制の整備」の項を設け、市町村においては、学習者が身近なところで学習情報等についての相談が受けられるよう体制の整備を求めている。

これからの公民館においては、従来と同じような学習機会の紹介や施設の提供に重きをおいた活動では、多様化する住民の学習ニーズに対応することは難しくなっていくであろう。

特に、中央公民館は、学級・講座の充実に加え、指導者養成などの広域的な事業を実施するほか、学習相談の機能・充実に図ることが求められている。

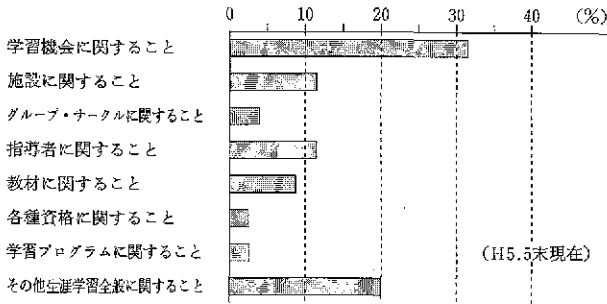
その結果、公民館ではより高いレベルの学習や幅広い学習ニーズに対して指導者情報・施設情報などの提供が可能となってくる。

しかし、一つの公民館で提供できる情報及び学習相談に応じられる範囲には限度がある。そのため、近隣の公民館がネットワーク化を図り、広域的に学習の機会を提供したり、より高いレベルの情報を提供することによって、地域住民全てに均等で有意義な学習機会を提供する体制が可能になってくる。

生涯学習推進センターにおける学習相談
当県立生涯学習推進センター



〈表1〉学習相談の内容



シリーズ 暮らし 公民館におけ

～県立生涯学習推進セ

(以下「センター」という。)では、以上の趣旨を生かすために、「いきいき県民カレッジ」を開設し、効果的な学習機会の提供とともに情報提供の充実を図っている。

また、センターでは、県民の学習がより充実したものとなるよう市町村公民館と密接な連携を図り、三名の学習相談員を配置して学習情報の提供や学習相談など県民や市町村に対して学習支援を行っている。

表1はセンターが対応したこの一年間の相談内容である。昨年八月から今年五月末までの相談件数は三百三件である。

この内の多くは、学習機会に関する相談である。学習機会について個人からの問い合わせが最も多く、全体の三十三%を占めている。特にセンターの「いきいき県民カレッジ」に参加している講座内容に関する割合が多く、希望する講座を求めて広域的に情報を探す受講者の姿が目立つ。

一方、公民館からの問い合わせも多く、その内容としては、指導者に関する相談が最も多い。一例を挙げると、

Q1 公民館が行う高齢者・女性対象の事業における指導者を紹介してほしい。

Q2 韓国語講座を開設したい。できたら韓国人の講師を紹介してほしい。

などであり、講座開設に当たって市町村内の講師に限らず、更に高度で専門的な知識を持った外部講師を求める傾向が強いように思われる。

センターでは、これらの相談に対し、一般的には次のような姿勢で対応をしている。

○ 百科事典のように、センター(相談員)が保有する情報やノウハウを学習者の求めに応じて直接提供する。

○ 相談員が応じられない事例については、施設、指導者等の情報元を紹介する情報源情報を提供する。

すなわち、具体的には次のように回答した。

A1 単に高齢者、女性対象の講座というだけではわかりませんので、講座のねらいや進め方、プログラムの内容を調べた上で指導者を紹介します。また、高齢者大学の講師群や各種人材バンクからも情報を提供します。

A2 新潟韓国教育院の「カン・チョンナル」院長に問い合わせてください。(電話〇〇)

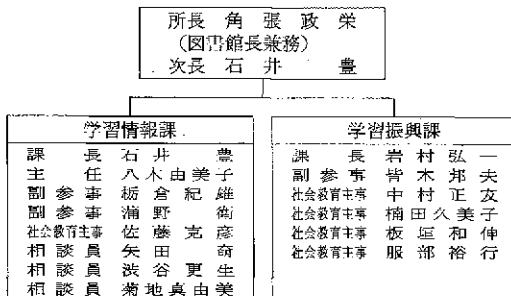
このほか、公民館からは、「県外の生涯学習センターが発行しているガイドブックの内容について調べてほしい。」「マンネリ化した成人式を若者を中心としたフレッシュなイベントにしたい。他の市町村で行われている成人式を紹介してほしい。」「等現在の事業の見直しのための相談の多いのも特徴の一つである。

今後、市町村が学習相談を進める上で課題となることは、公民館を中心として人的ネットワークやコンピュータ等を整備し、そこから得られる県や近隣の生涯学習情報を有効に活用することであろう。

センターとしては、生涯学習の最前線となっている市町村公民館がこれまで培ってきた資産(人、物、ノウハウ)をフル活用し、生涯学習社会実現の中核的な役割を果たしていくことを積極的に支援していきたいと考えている。

具体的には、ホットな情報提供や推進者、指導者の養成事業などを通して、連携を深めながら市町村や県民のニーズに応える使命を果たしていきたい。

〈表2〉生涯学習推進センター機構図



参考資料
月刊公民館一九九二・四月号
小山忠弘「生涯学習体系への移行と公民館の役割」
月刊公民館一九九二・十月号
「公民館Q&A」
月刊公民館一九九三・二月号
吉川 弘「公民館事業編成上の視点」



県公民館大会点描

盛会理に終わった

県公民館大会

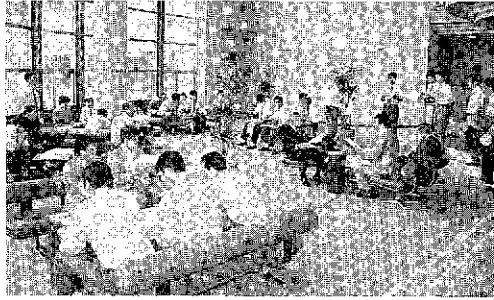
中頸城郡公民館連絡協議会長

渡辺之夫



久しぶりの晴天に恵まれ、六百余名の参加者を頸城村

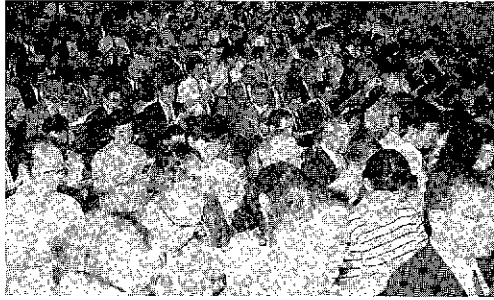
の希望館にお迎えできたことは、主管した中頸城郡公運として何よりも嬉しかった。「公民館の今日的課題を考える」というテーマに適合したシンポジウム、記念講演は参加



8:00実行委員各部署打ち合わせ

者一人一人の心を揺り動かしたのではあるまいか。

自らの体験に即した国際理解を取り上げ、これからの公民館の方向を提案した齋藤氏。婦人会活動から地球ボランティア活動の実践・公民館との連携による学習効果を取り上げた保坂さん。公運審委員の立場から、男女共同参画型社会を推進する必要と、これからの公民館は新しい視点からのプログラムづくりを」と強調された齋藤さん。そして、大会講師五十川先生の記念講演では、無境界化した社会と子供の実態に対応して、いま、公民館が推し進めるべき視点を



開会式冒頭「公民館の歌」斉唱

明確に示され、参加者一同感動に包まれた大会だったように思います。県公運事務局長の指導のもと実行委員が精力的に取り組んだお陰と心から感謝しています。

裏方の苦勞

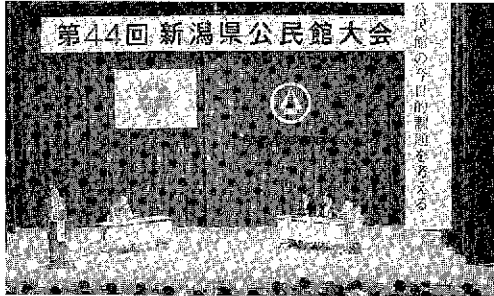
中頸城郡頸城村公民館長

外ノ池



「素晴らしい施設で、内容も充実した大会でした。」

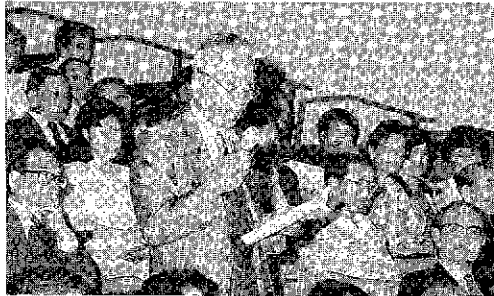
「昼食の場所が狭かったが弁当のご飯が美味しかった」などといろいろな感想を残して六百三十名の参加者が希望館を後にして県内の各地に帰っていかれま



基調提案とシンポジウム

した。梅雨の時期、しかも、連日豪雨が続いているなか、この日だけ雨も上がり、薄日がさすという天候に恵まれたことも大会が成功した一因でした。

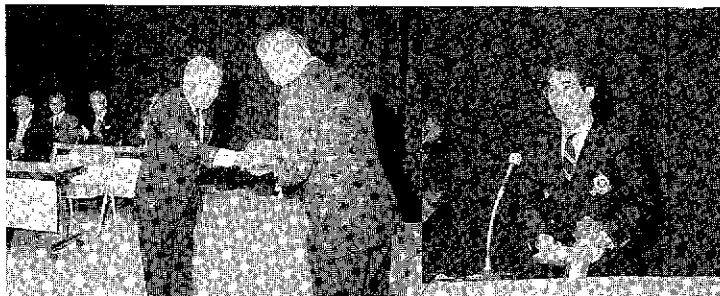
会場をお引き受けしたものの、ホールの固定席が四七四席しかないのに、六百名を越える参加者の対応には思案しました。視聴覚室でテレビ参加という案も出しましたが、最終的には全員が一同に会した方がよいということで、椅子を入れ特設席を作ったため、参加者の皆さんには窮屈な思いをかけたことを申し訳なく思っております。これは裏話ですがハブニングがありました。午前のシンポジウムの終了五分前になって



シンポジウムへの活発な質問

も弁当が半分しか届きません。コーディネーターに「あと五分延長をたのむ」のメモを渡し、タッチの差で間に合いました。食物の恨みは根深いとか、これで弁当が遅れたら折角の大会が台無しになるところです。冷汗をかいた一幕でした。

希望館の職員並びに、中頸公連の皆様のご献身的なご協力が大会成功の原動力になったものと感謝しております。



次期会場地への公民館旗の継承

講師五十川隆夫氏

サークル交流

気長に楽しく続けたい大正琴 山北町大正琴愛好会

昨年の七月、山北町文化協会主催の「芸術鑑賞事業」で、庄内大正琴連合会を迎えての「大正琴の夕べ」コンサートを観賞してから、私もこんなすばらしいサークルをもちたいと、夢は大きく広がりました。

今年の五月には、山北町文化協会主催の「町民趣味教養講座」(大正琴を弾こう)が開設され、男女十数名が受講されました。講師には、庄内大正琴連合会から招き、ピックの持ち方や、



ドレミの弾き方を教わり、レッスン曲は、「チューリップ」でした。

しかし、左右の手が思い通りに動かず苦心の連続で、あつと言う間に時間がすぎました。

この時の受講生を中心にクラブ結成の話がすすみ、「山北町大正琴愛好会」として発足しました。

月に二回の練習日を決め、早く腕を上げて、簡単な演歌や民謡など弾ける日を楽しみに、気長く続けていきたいと考えています。

(本 間 静 治記)

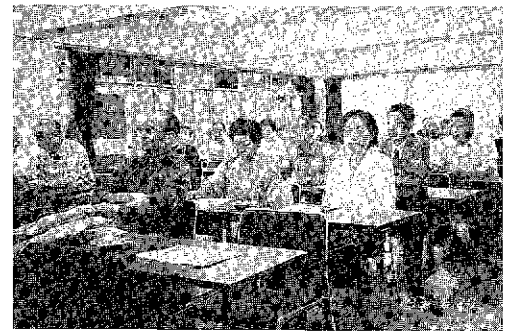
「川柳」心の集い

加茂川柳会

加茂川柳会が公民館活動の一環として誕生してから、七年目になろうとしております。

教職経験者や会社員、主婦等バラエティに富んだメンバーで構成されております。加茂川柳会は機関誌を「柳路」といいます。県本部機関紙「柳都」に一字あやかっただけであります。

毎月一回(第二水曜日)会員による研修講座を行っております。



す。他に中越川柳連盟(長岡、越路、見附、三条、分水、及び加茂)との交流、また、県本部主催の大会や、各川柳社の月例会等、毎月数回、県内のいずれかにおいて開催されております。年令や職業を超えた「柳友」の集いは正に自分の「殻」を破り、新たな自己再発見の場ともいえるでしょう。生涯学習が叫ばれている近年、老人パワリーの姿も多く見受けられます。

「他の船にも乗ってみよ」ということもあり、県内には公民館活動と連携している川柳の会も数多く存在しております。もう一人の自分に挑戦、是非加入の機会をお奨めします。

(丸 山 笑 造記)

茨曾根地区公民館主事

古川 正 利氏 (7歳)

現在、新飯田と茨曾根の地区公民館の二館を担当し、さらに中央公民館庶務係を兼務している。それだけに事務量も多いが地域のカラーを打ち出した事業を企画実施してきている。

茨曾根地区の民話を集めた「あつたてんがの、いばらそね」を集大成し、冊子とカセットテープにした。これがマスコミに取り上げられたこともあ



素顔拝見

六日町公民館主事

佐藤 誠氏 (32歳)

公民館に配属されてこの七月で満二年、生涯学習課の業務と大巻分館担当の業務でガンバっています。

趣味は山登りと絵を描くことに波のイラストは独特のものがあり、町の広報や議会だより、ポスターなど数多く掲載されています。その最たるものは六日町駅ホームにある縦一メートル横四メートルの大きな宣伝看板は彼の力作です。六日町に来る機会がありましたらご覧ください。



人間としても性格が温和で大勢の地区民を相手に仕事をすすめるのに、その飾らぬ態度に評判も良く、公民館職員として適任者であります。

ただ一つ気になることは、まだ独身なのに、周囲の心配に耳を傾けず、いっこうに素振りが見られないことです。早く良い相手を見つけ六日町の公民館に新しい風を送ってもらうことを期待しています。

(六日町公民館長 中條進記)

り、増刷するほど評判を呼んだ。また、同地区公民館のフェンスに「生涯学習」の文字と、マナーの絵を描いた。これが好評で、通学路のフェンス千二百メートルに各集落からデザイン企画と製作を任せる生涯学習地域づくり事業に取り組みでおり、完成が楽しみである。

公民館職員として二年目。業務をこなしながらも、レクリエーション指導者や地域リーダーとしての研鑽を積むなど、実に頼もしい限りの職員である。

(白根市中央公民館副館長 高橋直廣記)

参加のおすすめ 欧州社会教育事情視察派遣



全国公民館連合会では、今年度も全公連と文部省の補助によって、欧州社会教育事情視察団を別記派遣要項により派遣することにいたしました。ついでには、

視察団員の候補者を募っていますので、参加希望の向きは、次の事項を記入のうえ当県公連事務局へ八月二十三日までに申し出て下さい。

- (1) 本人の職名(専任・兼任別) 氏名(ふりがな)
 - 生年月日 現住所
 - 電話
 - 勤務先住所(所属課名) 電話
 - (2) 略歴および都道府県公連との関係
 - (3) 推薦状
 - (4) 外国語(会話・読解)の状況
 - (5) 派遣にあたり、所属機関からの援助の見込み
- なお、選考にあたっては、帰国後も公民館に勤務し、視察の成果を活かすことのできる者となっている。このため、県公連では、帰国後他部局への転勤が予想される者については推薦を見合わせる。

※申し込み期限が切迫していますので取り敢えず電話での一報をお願いします。

〒951 新潟市川端町2-1-9
県林業会館内
新潟県公民館連合会事務局
025-224-6073

第27回 欧州社会教育事情視察団派遣要項

1. 期日
11月1日(月)から11月14日(日)の14日間
2. 視察国
デンマーク、イギリス、オーストリア、ドイツ、フランスを視察予定。
3. 視察団員
(1) 視察団員は公民館長および同主事を中心とし、一部に関係者を加えることがある。
(2) 人員は4名~10名とし、本視察団の趣旨に合し、年齢は原則として60歳未満(但し個別に相談に応じる)で、身体強健な者を都道府県公連と協議して選考する。
① 常勤専任の館長および主事
② 外国語(英、独、仏等)の能力があれなお可
4. 経費(一人当たり概算)
運賃 437,500円(航空運賃、列車代等)
滞在費 417,500円(ホテル代、食事代、公式訪問視察費等)
研修費 100,000円(事前研修他)
合計 955,000円
※ 文部省補助と全公連の補助有り。個人負担は40万円から50万円程度となる予定。
(但し、この他に旅券手続き、傷害保険(希望者)、旅行中の雑費および事前研修のための上京旅費は個人の負担となります。)

生涯学習時代の 公民館運営Q&A

佐々木 實 著
第一法規出版刊

図 書 紹 介



約十年ほど前に刊行した「公民館運営一問一答集」で知られる著者佐々木実氏が「生涯学習時代の公民館運営Q&A」を刊行した。公民館関係者が日常の仕事に行き詰まった時、アイデアを求めるときに気軽に読めるように編集したもので、今後の公民館運営・管理の在り方やそれに関する法律問題も加味している。

- 生涯学習と公民館6
- 公民館への期待10
- 公民館施設の管理運営12
- 公民館職員の職務10
- 公民館の事業等20
- 公民館運営審議会の役割7
- 公民館の類縁機関との関係9
- 資料(数字は頁数)
平成五年六月発行、A5判、二五四ページ
定価二、五〇〇円
購入希望のむきは当県公事務局へ申し込まれたら送料実費

あとがき

◆第44回県公民館大会が無事終了しました。主管の上越公連中頭公連の皆様のご尽力によるもの、とりわけ、頸城村の関係者に厚くお礼を申し上げます。

◆質問の一つに大会実行委員会宛に、「今日の課題として、公民館の職員体制をなぜ取り上げなかったのか」という厳しい質問が出され、その答えとして「数ある今日の課題の中から、当県として当面するものを選択したこと。体制整備の問題も極めて重要であり、他の効果的な場与方法によって進めている」と回答しました。

発行所 新潟県公民館連合会
 【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
 【電話・新潟(025)224-6073】

発行人 会長 細川 正 博
 編集人 事務局長 上 村 捨二郎
 【定価1部130円 年共1,560円】